

【 6年】 算数科「単元まるごと活用」授業記録

単元名	速さ
つけたい力	資料の情報を使って、複合的に考える力
(学ばせたいこと) キーワード	縮尺、単位の変換、速さの公式、グラフの読み取り、時差、時刻と時間
学習材	自作
本時のねらい	資料の情報を使って、サンクトペテルブルクの到着日時を求める方法を考える
本時の課題	サンクトペテルブルクに到着する日時の求め方を考えよう
授業展開	<p>つかむ</p> <p>「情報の取り出し・理解」の活動場面 … 「既習の学び」を意図的に活用</p> <p>1 課題をつかむ</p> <p>2 資料を提示する</p>
	<p>考える 学び合う</p> <p>「思考、判断、表現・記述する」の活動場面</p> <p>3 考えを持つ</p> <p>4 学び合う</p> <p>・長さと縮尺から実際の距離を求める→グラフの時間と距離から飛行機の速さを求める→実際の距離と飛行機の速さから飛行時間を求める→出発時間と気候時間、時差から到着日時を求める。</p>
	<p>まとめる</p> <p>「交流・確かめ」の活動場面</p> <p>5 学習をまとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>①地図上の長さと縮尺から実際の距離が分かる。</p> <p>②実際の距離と速度から飛行時間が分かる。</p> <p>③飛行時間と出発時間と時差を考えれば、到着日時が分かる。</p> </div>
板書	<p>No. サンクトペテルブルクに到着する日時の求め方を考えよう</p> <p>地図上の長さ</p> <p>羽田 → サンクトペテルブルク (15 cm)</p> <p>$15 \times 80000000 = 1200000000 \text{ (cm)}$</p> <p>$\downarrow$ 実際の道のり</p> <p>グラフから $3000 \div 5 = 600$ 時速600km</p> <p>$12000 \div 600 = 20$ (羽)まで 20時間かかる</p> <p>羽田 9/29 午後2時 の20時間後の日時 \downarrow 9/30 午前10時</p> <p>月 時差が7時間だから サンクトペテルブルク到着は 9/30 午前3時</p> <p>日</p> <p>①地図上の長さと縮尺から実際の道のりが分かる ②実際の道のりと速度から飛行時間が分かる ③飛行時間と出発時間と時差を考えれば 到着日時が分かる</p>
振り返り	8人中1人が正確に答えを出すことができた。残りの7人も時差、時刻と時間以外は答えを出すことができた。答えを出すまでに、たくさんの既習を使うことになるが、一つ一つを正確に出すことができていた。ただ、かける数とかけられる数が逆になってしまいしまう児童もいたので、もう一度確認をしていきたい。

